



タンザニア

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日 2013年11月
- 調査場所: ダルエスサラームのゴンゴラボト地区
- 調査対象: ベンソン(仮名)さん一家
- 換算レート: 1米ドル ≒ Tsh1,610(1円=約16シリング)(2013年11月20日)



ベンソンさんの一家

家族構成	夫:ベンソンさん(51歳)、妻:(48歳)、長男:(28歳)、三男:(18歳)、次女:(16歳)、四男:(12歳)、三女:(9歳)、夫の妹:(43歳)、娘:(5歳) ※次男、長女はそれぞれ仕事を持ち、同居していない。
世帯収入	夫収入:月27万シリング 妻収入:2万シリング 長男収入:4万シリング 次男と長女からの仕送り:4万シリング
職業	夫は個人雇いの運転手、妻は専業主婦だが、ゴザを編む内職をしている
勤務日数	週5日 月～金
出身地	ムベヤ州

ベンソンさん (51歳)

職業:個人雇いの運転手
月収:Tsh270,000-

休暇の過ごし方は?

庭の畑を耕す
ラジオを聴く
友人に会いに行く

今欲しいものは?

- 1.ウガリの粉
- 2.おかずにするための豆
- 3.砂糖

通勤交通手段、勤務地は?

家からゴンゴラボトのバス停までバイクタクシー(Tsh1,000)。バス停からムエンゲまでは乗り合いバス(Tsh600)

買い物場所は?

食料品は近所の店やキオスク
食器などはゴンゴラボトのバス停にある店で

趣味は?

パオ(ゲーム)をする



妻 (48歳)

職業:主婦、ゴザ編みの内職

買い物場所は?

上に同じ

今欲しいものは?

- 1.食器棚
- 2.洋服ダンス
- 3.子どもの服

休暇の過ごし方は?

庭の畑を耕す

趣味は?

聖書を読む
近所の人とおしゃべり



職業紹介

夫:まだ暗い朝5時に起きて出る。家の近くで客待ちしているバイクタクシー(ボダボダ)に乗り、(1,000シリング)バス停まで約10～15分。バス停からダラダラという乗合バスで職場のあるムエンゲまで行く(600シリング)。ムエンゲまではその時間帯ならまだ渋滞がないので1時間ほどで着ける。ムエンゲ地区にある牛乳配送会社に勤めるタンザニア人の私用運転手をしている。やはりムエンゲ地区にある雇い主の家まで行き、雇い主の自家用車の運転をする。個人雇いで給与もその雇い主から受け取っているが、車は会社が借り上げているため、日中は会社の仕事の運転手をしている。この仕事を始めてから4年になる。それ以前は、インド系タンザニア人の運転手をしていたこともあった。朝の6時半から夕方5時までが勤務時間である。土曜日は基本的に休みだが、雇い主に呼び出されて仕事日になることもある。夕方は渋滞がひどくなるので、5時に仕事を終えてバスに乗っても、家に着くのが8時ころになってしまうことも多い。また、家から約10kmのところに3/4エーカーほどの畑を持っているので、農繁期の土日の午前中は畑仕事をする。トウモロコシ、ジャガイモ、キャッサバなどを育てて、自家消費に充てている。

妻:基本的には主婦だが、頼まれてゴザを編む仕事を家で空いた時間にしている。ひと月に2～3万シリングほどの収入になる。また小雨季、大雨季のころには、裏庭でも葉物野菜を育て、自家消費に充てている。雌鶏が1羽いて、卵が取れる。ほかにアヒルを飼っている。半年前までは10羽いたのだが、病気で死んでしまった。一羽25,000シリングで売ることができたのだが、10羽いたころは、月に15,000シリングほどの餌代がかかっていた。クリスマスなどお祝いごとの時には、自宅ですべて食べることもある。現在、ちょうど雛が孵ったところだ。

長男:長男のユスフさんは定職はないが、ときどき知り合いに頼まれて、ダラダラ(乗合バス)の車掌をしている。だいたい月10日ほど働き、約4万シリングの収入がある。

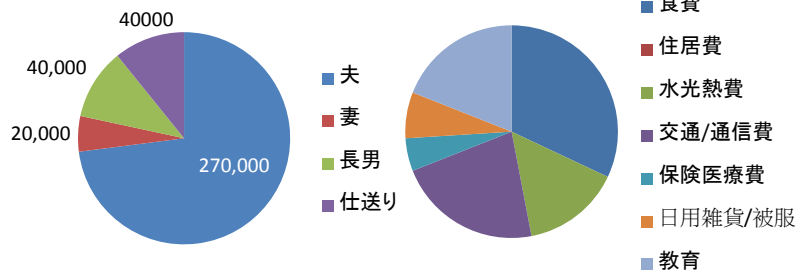
その他:ダルエスサラーム在住だが、同居していない次男(自動車整備士、22歳)と長女(家政婦、24歳)からそれぞれ月2万シリングずつの仕送りがある。

収支内訳

・1か月の収入370,000シリング
(夫270,000+妻20,000+長男40,000+仕送り40,000)+畑で取れる作物

・支出内訳

(食費32%、住居費0%、水光熱費15%、交通/通信費22%、保健医療費5%、日用雑貨費/被服費7%、教育費19%)



住居

住居	住居は持ち家である。以前にベンソンさんが5年ほどインド系タンザニア人の運転手として勤めていたときに掛けていたPPF (Parastatal Pensions Fund)をもとに、15年ほど前に50万シリングで購入していたゴンゴラボトの土地に、少しずつ建築資材を買い求めて大工に頼み5年間かけて家を作った。今までに使った建築費用は約7百万シリング。ゴンゴラボトは現在新興住宅地となっていて、周辺にも新築や建築中の家が多い。土地の広さは約1/4エーカー。家は3ベッドルームに応接間というつくりで、炊事は裏庭で行い、シャワールーム兼トイレ用の小屋も裏庭にある。トイレは汲取り式である。雨の季節がくると、裏庭の空き地を耕して自家消費用のムチチャなどの葉物野菜を育てている。ゴミは裏庭に穴を掘って捨てている。現在雌鶏が1羽とアヒル1羽とその雛が3羽、ネズミ捕り要員の猫を1匹飼っている。餌は残り物を与えている。
電力の有無	この家の周辺にはまだ電線が届いていないので、電気はない。しかし、周辺ではソーラーパネルを設置して電気を使っている家もある。夜は石油ランプからろうそくを使っている。
水道の有無	水道もないので、近所の井戸から水を買ってきている。バケツ一杯(20リットル)で100シリング。一日だいたい10杯の水を購入している。
トイレ	シャワー、トイレ(汲取り式)は裏庭のトタンの小屋のなかで行う。
電化製品	電化製品は一切持っていない。
携帯電話	ベンソンさんだけが携帯電話を所有している。TECNO製で昨年40,000シリングで購入した。バイクタクシー乗り場の付近の店で充電している。一回300シリング。



家の外観 表側



裏庭のトイレ・シャワー小屋



ゴミ捨て場



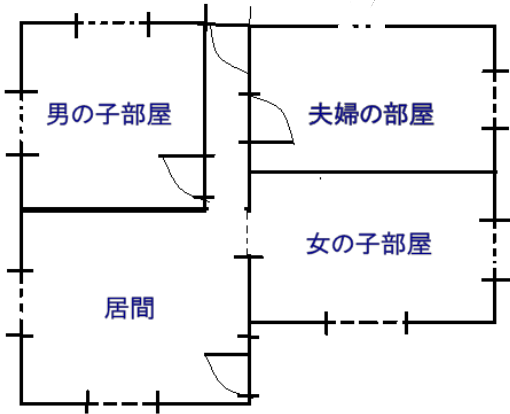
トイレ・シャワー小屋の中

ベンソンさんの家

トイレ、
水浴び小屋

アヒル

ニ拾い場



裏庭のアヒル飼育場所



アヒルと雞たち



鶏が産んだ卵



夫婦の寝室



居間



居間



男の子部屋



夫の妹や女の子たちの部屋



夫の妹や女の子たちの部屋



男の子部屋 鍋や食器も置いてある



ござを編む妻



飼っている猫

JETRO



食事

食事は、お金があれば、朝は砂糖入りミルクなしのチャイにマンダジ(揚げパン)などを食べ、昼、夜にはウガリとマハラゲまたはクンデなどの豆の煮込みや青菜の炒め煮、ダガー(小魚)の煮込みなどのおかずと食べる。ときどき主食がコメになることもある。

ウガリの粉は季節にもよるが、1kg800~900シリングで購入。畑で取れたものを使うこともある。一度の食事でだいたい1.5kg使う。しかし、お金がないときは、朝、昼、食べずに晩ご飯だけになることもある。子どもにお腹をすかしたまま寝させるのは、かわいそうなので、1食だけのときはそうしている。

ベンソンさんは、仕事日は朝食をとらずに家を出て、職場近くの野外食堂でチャイ(ミルクなし砂糖入り紅茶)300シリングとチャパティ(平たいパン)300シリングなどを購入して食べる。昼食もまた同様の食堂で1,500シリング程度の定食(ご飯またはウガリと豆のおかずなど)をとる。

本日の昼ご飯は、ウガリとマハラゲ、そしてムレンダというメニュー。ムレンダは、細かく刻んだかぼちゃの葉とオクラを煮込んだもの。主にタンザニア中央部などで食べられているネバナバするおかずである。ベンソンさん一家の故郷の料理ではないが、ダルエスサラーム生活を続けているうちに覚え、ときどき作るようになった。子どもたちは昨日炊いたご飯にマハラゲをかけて食べた。

燃料は薪と炭を用いている。冷蔵庫はないので、腐りやすい野菜などの買ひだめはしない。近所に店があるので、そこで購入している。外食はしない。



お昼御飯、ウガリ、ムレンダ、マハラゲ



子どものご飯 昨日のご飯とマハラゲ



時間

ベンソンさんの妹はシングルマザーである。子どもを産む前は行商などをしていたが、娘を産んでからは、ベンソンさんの家に娘とともに住み、とくに仕事はしていない。妻とともに家事を担当している。タンザニアでは親戚やその子どもと一緒に暮らしているのは珍しい。

上の4人の子ども、三男までの学歴は義務教育終了(小学校7年生)のみだが、中学進学率が高くなった昨今(2000年には21.7%だった入学率が2010年には52.2パーセントにアップした:「Basic Educational Statistics of Tanzania」Ministry of Education)1981~2010より)、将来、よりよい仕事を得るためにもベンソンさん一家にとっても子どもの進学は重要課題になってきた。次女は、中学進学の国家試験に落ちたため、私立の中学に通わせている。公立なら年間20,000シリングの授業料で済む(実際には寄付金やユニフォームなどでもっとかかるが)ところ460,000シリング払っている。そのほか、次女と小学生の子ども二人は平日は毎晩、補習のための塾にも通っている。午後5時から7時までの2時間で1日1人200シリング支払う。徒歩で通っている。公立小中学校の教師がアルバイトで教えている。タンザニアの都市部では、収入の決して多くない家庭でも子どもたちを補習のための塾に通わせていることが多い。

日曜日の教会へは交通費削減と、健康増進の意味も含めて片道2時間半の道のりを家族で歩いて行っている。

ベンソンさんは休日の夕方は、近所の野外で男性たちが集まってバオ(アフリカで広く行われているボード・ゲーム)をしている場所に行き、ゲームに加入するのが楽しみである。



		ベンソンさん	
時間	平日	休日・土曜日(農繁期)	休日・日曜日
5時	起床 家を出る バイクタクシーに乗り、バスに乗り換える	起床 朝食 徒歩で畑へ	
6時			起床
6時30分	職場に到着、朝食をとる、仕事開始		朝食
7時			身支度
7時30分		畑に到着・仕事開始	家を出発・徒歩で教会へ
10時		畑仕事終了・徒歩で家へ	教会到着 ミサ
12時		帰宅、水浴び、休憩	教会出発 徒歩
13時	昼食休憩		
13時30分		昼食	
14時	仕事に戻る	休憩	帰宅
16時		パオゲームをしに外出	昼食
17時	仕事終了、バスに乗る		パオゲームをしに外出
18時			
19時			帰宅
20時	帰宅		夕食
20時30分	夕食		
21時30分	体を洗う		
22時		就寝	

		妻	
時間	平日	休日・土曜日(農繁期)	休日・日曜日
5時		起床 朝食・畑へ	
6時	起床、身支度、家の周りや中の掃き掃除		起床
6時30分	昨晚の食器を洗う		朝食
7時	水汲み		身支度
7時30分	お湯を沸かす	畑に到着・仕事開始	家を出発・教会へ
8時	朝食	畑仕事終了・徒歩で家へ	教会到着 ミサ
8時30分	洗濯		
9時	庭畑仕事		
10時		畑仕事終了	
11時30分	買い物		
12時		帰宅、昼食の支度	教会出発 徒歩
12時30分	昼食の支度		
13時			
13時30分	昼食	昼食	
14時			帰宅
14時30分	休憩	買い物、水汲み	昼食の支度
15時30分		ゴザを編む	
16時			昼食
17時			
18時		夕食の支度	
20時		夕食	
21時30分		体を洗う	
22時		就寝	

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。